レポート

グローバルサプライチェーンの状況：

2026年の市場分析



molex



目次

03 はじめに

04 貴金属

05 原材料

07 樹脂

08 貨物輸送とロジスティクス

09 Molex：回復力を備えたインテリジェントなサプライチェーンの構築



はじめに

不安定な状況にうまく対処する：サプライチェーンの戦略的展望

変動性だけが唯一の変わらない要素である場合、回復力のあるサプライチェーンを構築するには、何が必要となるでしょうか？ 現代の調達は、厳格な計画と妥協のない基準に依存しており、深いサプライチェーンインテリジェンスと絶え間ない俊敏性が事業継続への不可欠な要素となっています。

貴金属、原材料、樹脂の調達で続く不安定性が物流の不確実性と相まって、コスト構造に圧力がかかり、計画サイクルを混乱させています。リードタイムは混乱がピークに達していた時からは改善されたものの、サプライヤーや地域全体で依然として不均一となっている一方、世界の物流ネットワークは地域の混乱や輸送能力の制約に対して脆弱なままです。

調達チームはこれまで以上に多くのデータにアクセスできますが、その情報を実用的な戦略に変換することは、依然として大きな障壁となっています。競争上の差別化は現在、製品の可用性だけでなく、サプライチェーンのパフォーマンスに大きく依存しています。サプライチェーンの詳細な可視性とグローバルな需給シグナルを継続的にモニタリングすることで、組織はこれらの課題にうまく対処しやすくなります。デジタル技術を活用したサプライチェーンツールを使えば、サプライヤーのパフォーマンスと需要の変動に関するリアルタイムのインサイトを取得できます。また、サプライチェーンインテリジェンスが統合されているためデータ主導の意思決定がサポートされます。

調達チームは、市場の変化を積極的に把握することで、リスクを軽減し、安定した供給を維持するための早期決定を行うことができます。計画戦略と調達戦略における機敏性の向上により、変動への迅速な対応と遅延による損害の低減が可能になります。最適化されたルーティングとモード選択では、コストとサービスレベルのバランスを取りながら信頼性を向上することが可能です。より迅速に自信をもって意思決定を行えるようにするこの機能は、供給保証を強化し、最終的にはお客様の成果を最適化します。

次のレポートは、サプライチェーンの大まかな展望を示し、4つの重要なカテゴリーにわたって全体像を形作る主な傾向を詳述しています。

- **貴金属**
- **原材料**
- **樹脂**
- **貨物輸送とロジスティクス**



貴金属：
安全資産への流入と産業の安定性

世界的な不確実性や金融政策の変化により、貴金属のベースラインは再定義され続けています。組織は重要な材料を確保するため、これらのマクロ経済的な圧力にうまく対処する必要があります。

市場の概要

世界の貴金属市場は、最近の経済・金融の発展における長期的な影響を引き続き反映しています。金は、先が読めない世界的な不確実性、中央銀行による購入、米国連邦金利のさらなる引き下げへの期待によって引き続き強く支持されています。中央銀行は金の大量購入を維持しており、数年にわたってこの傾向が続いています。中国、インド、ポーランド、トルコなどの国々は、米ドル以外の資産に分散し続けており、金の構造的な需要を支えています。

世界の成長の鈍化や、インドと中国における小売需要の抑制により、宝飾品の消費が抑制される可能性がありますが、多額の投資と準備金の需要により、その減少が相殺され、全体的な市場ファンダメンタルズは堅調です。さらに、米ドルの軟化により、新興市場全体での世界的な購入意欲がより刺激されています。銀の需要は依然として安定しており、エレクトロニクスおよび太陽光発電分野での産業用途が市場の下支えとなっています。地政学的な緊張や貿易政策の目まぐるしい変化により、安全資産としての金へ、また規模は小さいものの銀への流入が続いています。

リードタイム分析

- 金と銀のリードタイムは2026年第1四半期まで安定しており、米国、日本、シンガポール、中国、ヨーロッパの主要サプライヤーによる大幅な遅れはありません。
- マクロ経済の緊張と貿易政策のリスクは依然として残っていますが、積極的にサプライチェーンのリスク管理を行うことで、これらの要因が貴金属の納品スケジュールに直接影響を及ぼすのを避けられています。
- 正確な需要予測は依然として重要であり、サプライヤーはキャパシティと材料要件を効果的に管理できます。
- 厳格な内部監査と認定された責任あるサプライヤーに信頼を置くことで、組織はサプライチェーン管理におけるコンプライアンス関連の混乱を防ぐことができます。

概要

金市場のファンダメンタルズは、中央銀行の需要とグローバルな不確実性に支えられ、依然として堅調となっています。宝飾品と小売の需要は軟調なままですが、投資と準備金ベースの需要により構造的に支えられています。リードタイムも世界的に良好な状態を維持していますが、マクロ経済と貿易の動向を継続的に監視する必要があります。調達チームは、社内での緊密なコミュニケーションを維持し、リサイクルや倫理的な調達プログラムなど、お客様のイニシアチブに対応する準備を行う必要があります。

原材料：
銅不足と世界的な需要の変化

先進技術の急速な発展により、原材料を取り巻く状況は根本的に変化しつつあります。この分野における従来のニーズと、この新たな需要とのバランスを取るには、戦略的な先見性が必要です。

市場の概要

世界中で、電子部品市場は2つの異なるペースで動いています。オートモーティブ、産業、消費者、通信などの従来の分野は、急速に拡大する人工知能（AI）やデータセンターセグメントよりも緩やかに成長しています。

AIエコシステムにおける需要は、依然として非常に堅調です。現在こういった分野からの波及効果が、より従来型の分野の供給状況に影響を与えています。ハイパースケール投資は2025年に6,000億ドルに達しており、これらの投資レベルは2026年を通じて高水準が維持されると予測されています。大手ハイパースケール事業者が北米やアジアで新施設を積極的に立ち上げる中、こうした事業拡大に伴い、大量の高伝導ストリップ、銅ケーブル、バスバー、特殊合金の需要が大幅に高まっています。その結果、この集中的な需要により世界中の供給能力が圧迫され、従来の分野の調達チームは、限られたリソースをめぐって競争せざるを得なくなっています。

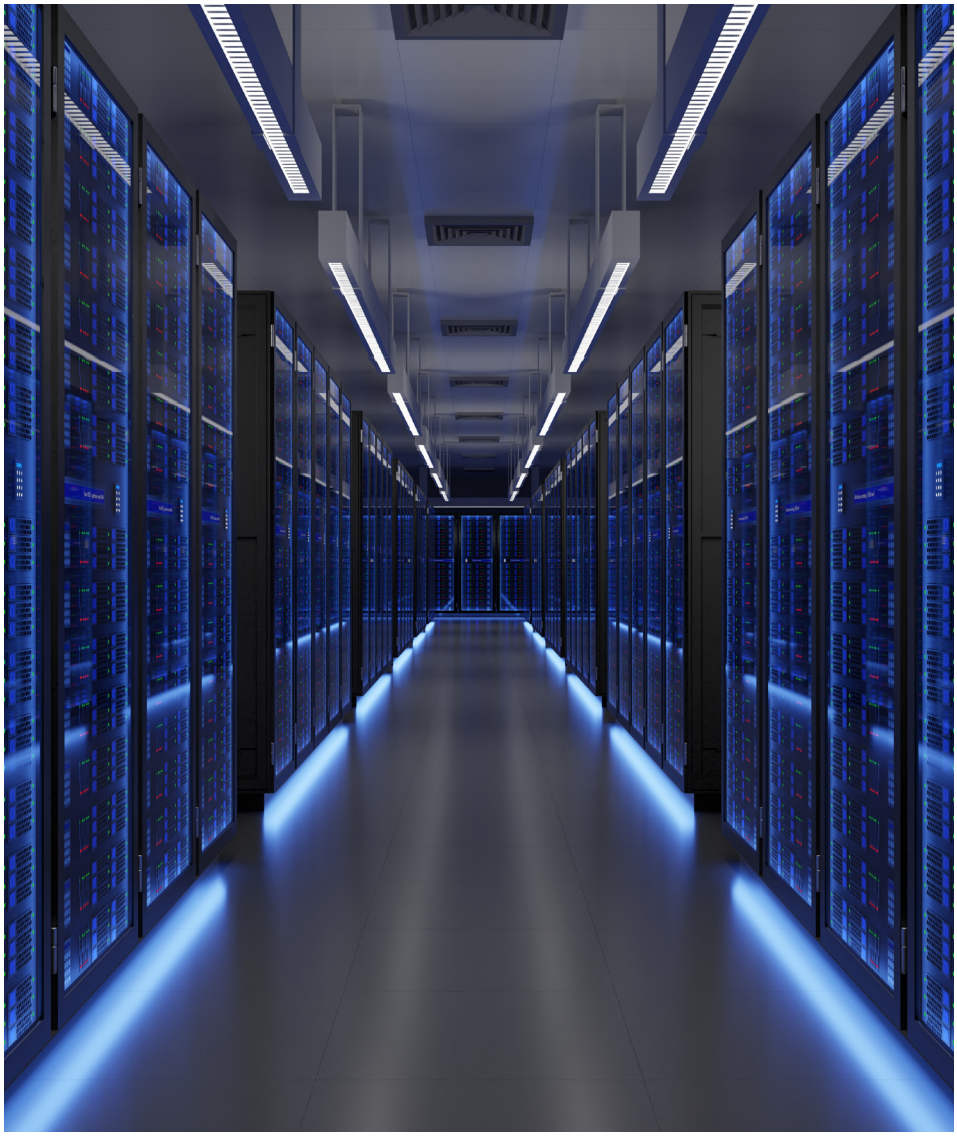
世界的な需要は地理的に大きく変化しています。米国の政策では、変革的なエネルギーイニシアチブよりも、国内製造のほうに引き続き重点を置いています。その結果、米国における電気自動車の銅需要は鈍化しています。2025年8月に米国で導入された半完成の銅製品に対する50%の関税は、現在、世界貿易の流れに完全に組み込まれています。精錬銅は現在も関税の対象外となっていますが、追加の関税措置が予想される中、こうした動きが購買行動に影響を与え、地域全体での供給状況を逼迫し続けています。

アジアの国々やインドは、電動化、都市開発、電力網インフラへの継続的な投資といった旺盛な需要により、引き続き成長を牽引しています。中国は依然として市場で影響力のある存在です。不動産分野は低迷する一方で、最近の金融緩和への取り組みによりインフラ関連の活動が再び活発化しています。銅製品の輸出税還付が撤廃されたことで、国内市場にさらに多くの材料が流れ、輸出量が抑制されています。サプライチェーンのリスク管理を強化し、関税コストの増加を相殺するため、OEMは中国国外の供給と製造体制をますます必要とするようになっています。同時に、コンゴ民主共和国からの精錬銅の輸入量は依然として多く、世界的な需要の高まりを支えています。

世界の複数の主要鉱山は、鉱石品質の低下や断続的な混乱に直面しており、供給は引き続き逼迫しています。アジアの製錬業者は、精鉱の供給不足と厳しい環境規則に引き続き苦戦しています。



取引所在庫は、依然として従来の基準をはるかに下回っています。これらの要因が相まって、2026年第1四半期まで続いた精錬銅不足の一因となっています。



リードタイム分析

- 世界的な需要の変化、生産能力の制限、関税期限を前にバイヤーが注文を前倒しで行っていることにより、リードタイムは地域や材料の種類によって引き続き長期化しており、ばらつきも見られます。
- 高度なテクノロジーに対する需要の高まりを受けて、サプライヤーは生産能力を再配分しているため、アナログ電力、高速接続、シグナルチェーン向けデバイスの納期が長期化しています。
- 地域調達モデルは物流リスクを低減し、世界的な貿易変動の中でより安定した納品をサポートします。
- アジアでは、精錬業者が国内バイヤーをますます優先する中、エネルギー関連の生産制約と地域の在庫の低さが遅れを悪化させています。

概要

2026年の銅市場は、継続的な供給逼迫とマクロ経済リスクの高まりが特徴です。近年確立された調達戦略は依然として不可欠であり、選択肢の拡大、現地間の調達、代替合金の認定、サプライヤーとの積極的な連携が重要となっています。中国とインドは引き続き世界の銅需要の大半を占め、データセンターと電動化が成長を牽引する主な要因になると見込まれます。

需要は2026年を通じて供給を上回ると予想されます。成功するには、サプライヤーとの関係を長期的に築くことが重要となるほか、戦略的な数量計画やリスク軽減の取り組みを継続的に行う必要があります。



樹脂：サイクル後期の平常化と地域の変化

長年にわたる不安定な状況を経て、樹脂市場は新たな安定化段階に突入しています。しかし、地域の格差や特殊グレードの制約には、引き続き警戒が必要です。

市場の概要

数年間の不安定な状況を経て、2026年の世界の樹脂市場は、サイクル後期の平常化段階にあります。特にアジアでは、生産能力が大幅に拡大され、システム的な供給不足が緩和されています。樹脂の種類やグレードによっては、市場バランスが依然として脆弱で不均一となっています。需要は慎重な動きが続いていますが、低迷しておらず、オートモーティブエレクトロニクス、データインフラ、産業オートメーションにおける一部の分野では堅調さが見られます。このカテゴリーは、供給の確実性という考え方から、サプライチェーンのリスクを積極的に管理するというフェーズに移行しました。

ポリプロピレン（PP）、ポリエチレン（PE）、アクリロニトリルブタジエンスチレン（ABS）などの汎用的な樹脂は、ほとんどの地域で需要を上回る世界的な供給が見られます。サプライヤーは、利益率を確保するため、稼働率を引き続き慎重に管理しています。ポリカーボネート（PC）、ポリブチレンテレフタレート（PBT）、ポリアミド（PA）などのエンジニアリング樹脂における標準グレードの供給量は、十分に確保されています。難燃性、電気、高温グレードの樹脂は構造的により逼迫しています。生産能力は確保されているものの、資格のあるサプライヤーに集中しています。サプライヤーの供給割り当てリスクは、グローバルなものからサプライヤー固有のものへと変化しています。

アジアの生産能力体制は最も競争力があります。ヨーロッパと北米への輸出圧力は高まっています。北米市場は引き続き均衡を保っており、サプライヤーは利益率を重視しています。現在の動向は、価格面でのリーダーシップではなく、信頼性を重視した国内供給が優先されています。ヨーロッパは、エネルギーと規制による構造的なコスト圧力に直面しており、サプライヤーの柔軟性が阻害されています。

リードタイム分析

- 標準グレードの平均的な樹脂リードタイムはほぼ正規化されており、特殊なエンジニアリンググレードの樹脂ではリードタイムが散発的に長期化するほか、サプライヤー固有の制約も見られます。
- PCとPCブレンドは、グローバルな生産能力の増加が地域の逼迫さを軽減するのに役立っている一方で、コネクターに使用されるPBTエンジニアリング熱可塑性プラスチックは特定の電気グレード要件によってばらつきがあります。
- ABSについては、全体的に緩和の傾向にありますが、地域のアンチダンピング政策と輸入対策により、現地の逼迫さが上昇する可能性があります。
- PAでは、電気自動車市場からの需要が急速に供給を締めつける可能性があるため、高性能のガラス充填グレードおよび熱安定化グレードでは、安定ないしはわずかに逼迫している状況です。

概要

市況は平常化したものの、一様ではありません。グローバル樹脂供給は、もはや体系的な制約には直面していませんが、樹脂ファミリーとグレードによっては供給体制にばらつきがあります。エンジニアリング樹脂は、その特殊ブレンドと材料が業界全体で広く使用されているため、依然として主要なリスクとなっています。調達元が単一であるため、引き続き最大の脆弱性となっており、地域化がレジリエンスを向上させるための重要な戦略となっています。現在の環境は、サプライヤーを多様化し、次の需要サイクルの前にレジリエンスを確保する理想的な期間と言えます。

貨物輸送とロジスティクス：構造的な変化の中でのサプライチェーンリスク管理

地政学的状況の変化と経済的圧力により、国際的な海運ネットワークの大規模な再編成が余儀なくされています。サプライチェーンの流動性を維持するためには、これらの変化に適応することが必須になります。

市場の概要

世界の貿易パターンは、マクロ経済要因の影響を受けて構造的な変化を遂げています。業界レポートでは、特定の太平洋横断路線における貨物需要の継続的な低迷が示されています。海運事業者は、地域の緊張、進化する貿易フロー、継続的な混乱リスクを管理するために、配分能力においてレジリエンスと俊敏さを維持しています。貨物輸送事業者は、運用の混乱や港湾の混雑を軽減するため、一部の運河航路の再開について、慎重かつ段階的な戦略で対応しています。2026年の船舶輸送は、主に12,000 TEU以上の容量を持つ大型船で構成されることが予想され、より小型の船舶に大きく依存するアジア市場内の輸送能力が逼迫することが示唆されています。

企業がサプライチェーンの多様化を加速する中、中国、香港、韓国などの歴史的に製造において優勢を築いていた地域へのサプライチェーンの依存度は、過去10年間で90%から50%に低下しています。いくつかの東南アジア諸国がその恩恵を受ける国として浮上しており、公共貿易データによると、ベトナムからのコンテナ輸入は前年比23%、タイは9.3%、インドネシアは5.4%増加しています。

AIの需要バブルは航空貨物に対して大きな影響を及ぼし続けており、2026年には5.2%の堅調な成長が見込まれています。貿易政策の変化により、eコマースの取引量が急激に入れ替わり、中国からヨーロッパへの航空輸送が62%増加しました。航空貨物の需要は、関税関連の発注の前倒しやeコマースの成長といった輸送方式の変動要因の過渡期を経て、世界的な経済トレンドに合わせて正常化しています。世界的な旅客旅行の増加とパンデミック中に注文された新しい貨物機の参入により、2026年には、貨物機と旅客機の貨物室の容量が拡大しています。しかし、長期的なワイドボディ機の生産が停滞したために、全体的な輸送能力は引き続き制限されています。

陸上物流も新たな圧力に直面しています。ヨーロッパにおける道路通行料の進展は、2026年の運賃に引き続き影響を与えることが予想されます。EU排出量取引制度では、船舶会社は温室効果ガス排出量の100%を相殺し、コストを顧客に転嫁する必要があります。米国では、倉庫の空き状況が良好で、買い手に有利な状況となっている一方、メキシコでは、強い需要が新規建設への投資を引き続き促進しています。

リードタイム分析

- 海運の信頼性に関する問題や欠航に加えて、過剰運送能力の管理を目的とした減速運航が続いており、世界的な海運のリードタイムは、依然として厳しい状況にあります。
- 2026年の世界的な港湾混雑は、構造的な物流麻痺ではなく、主に季節的なピークと、貿易航路の変化によるもので、依然として一時的かつ地域固有のものとなるでしょう。主な制約には、ヤードスペースの不足やインフラの遅れ、機器や労働力不足などがあります。

概要

課題が続く中でも、世界的な物流市場は進化し続けています。安定した状況から一転してリードタイムは変動しやすくなっており、サプライヤーは混乱の兆候に対しても迅速に対応しています。変化の激しい情勢にうまく対処するには、サプライチェーン全体での慎重な取り組みと連携の強化が必要です。グローバル貿易が拡大し、関税が複雑化する中、専門的な通関仲介サービスとコンプライアンスに関する専門知識への需要は高まっています。デジタルサプライチェーンへの移行は、輸送と倉庫保管業務においてこれまで以上に重要になっています。顧客の期待の高まりと効率性に対する継続的なプレッシャーにより、統合型のデジタルエコシステムの必要性が高まっています。

MOLEX：さらなる回復力を備えたインテリジェントなサプライチェーンの構築

このサプライチェーンの見通しは、急速な技術の導入とマクロ経済政策の変化の影響を受けて、グローバルなサプライチェーン管理が大きく進化していることを示しています。材料市場の変化と世界的な物流業界の不安定化が続く中、現代の調達方法は再定義されています。この新しい環境で成功するには、包括的なデジタル化による下支えとサプライヤーとの綿密な連携が必要です。

Molexは、この大きく変動する市場にうまく対処して成果を上げられるよう、実績に裏打ちされた専門知識、包括的な機能、グローバルな対応力を提供しています。このアプローチの中核となるのが、インテリジェントデジタルサプライチェーン（IDSC）イニシアチブで、デジタルサプライチェーンの綿密な連携を確立します。これにより、お客様は設計段階でサプライチェーンの制約を考慮し、予期せぬ出来事にもリアルタイムで対応し、市場が不安定になった際には方向転換を行うことができます。Molexは専門知識を活かして、地域に根差した調達戦略の開発からレジリエントな供給ネットワークの構築まで、業界で最も複雑となっている課題の解決を支援します。

信頼性が絶対条件となる中、リーディングサプライヤーを際立たせるのはイノベーションです。信頼性とイノベーションのバランスを取るには、製品開発の初期段階から市場インサイトを積極的に取り入れる構造化プログラムがもたらす、深いコラボレーションが必要です。イノベーションサイクル全体にサプライチェーンインテリジェンスを組み込むことで、Molexは市場の変化を予測し、主要なグローバル組織とともに、また主要なグローバル組織のためにソリューションを提供します。

Molexが未来のサプライチェーンをどのように構築しているのか、サプライチェーンおよびアジリティのソリューションをご覧ください。



www.molex.com/ja-jp

Molexは、米国におけるMolex, LLCの登録商標であり、その他の国でも登録されている場合があります。
本文書に記載されているその他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。
注文番号987653-0092 ©2026 Molex

molex